

[004_1980]第四回中央図書館貴重文物展観目録： シャルル・ペラ文庫の片鱗

九州大学附属図書館中央図書館

森, 洋
九州大学文学部 : 教授

<https://doi.org/10.15017/16417>

出版情報 : 大学広報. 378, pp.1-8, 1980-05-28. The Committee of Public Relations Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

大学広報

No.378

昭和55年5月28日発行

(編集)

九州大学広報委員会

第四回中央図書館貴重文物展観目録

(中央図書館)

は し が き

中央図書館は、特定のテーマを選んで本館所蔵の貴重な文献や書書類を逐次展観していくことにいたしております。

その第四回として「シャルル・ペラ文庫の片鱗」というテーマのもとに、同文庫の冊子体図書等の一部を下記により展示公開することにしました。教職員や学生諸君が多数来観されるようご案内いたします。

なお、今回の展示に際しては、展示図書等の選定・配列・解説等につき文学部の森 洋教授にひとかたならぬ御尽力と御指導を頂きました。ここに衷心より御礼申し上げます。

記

場 所： 中央図書館メインロビー

期 間： 5月12日(月)から7月10日(木)まで

(約2か月間)



展観資料とその解説

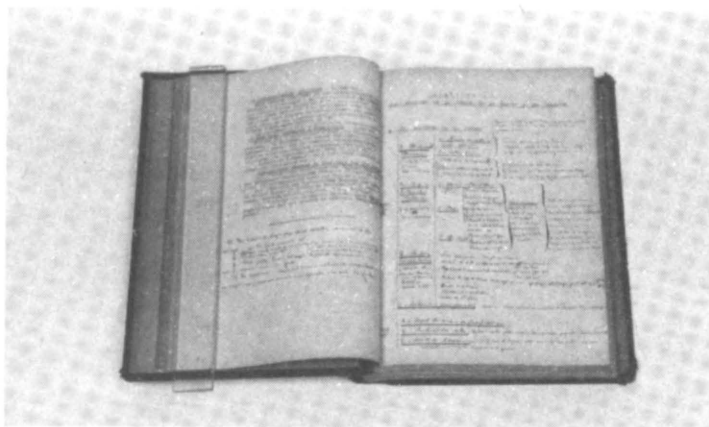
第四回中央図書館貴重文物展観として、「シャルル・ペラ文庫」が取り上げられることとなった。本文庫は、昭和53年度補正予算によって購入されたもので、冊子体図書 2,611部、雑誌6セット、抜刷 742点から成り、パリ国立古文書学校（エコール・デ・シャルト）教授故シャルル・ペラ氏が、生涯をかけて、フランス史学の伝統に基づく体系に従って収集されたものである。この文庫の基本的性格については、何度か執筆の機会を与えられた（「ペラ文庫」図書館情報1978. 10~12. Vol. 14 No. 4, 「ペラ文庫」九大学報、1979年5月、No.1154, 「ペラ文庫との出会い」九州大学文学部同窓会会報、22号、1979年）。

一回の展観では「ペラ文庫」の片鱗をしか紹介できないが、今回は、

- 1) ペラ教授自身の研究とその背景（古書体学）
- 2) 彼の生地リヨンに関するもの
- 3) ツールと雑誌
- 4) ペラ教授自身の著書と注目を惹く図書のごく

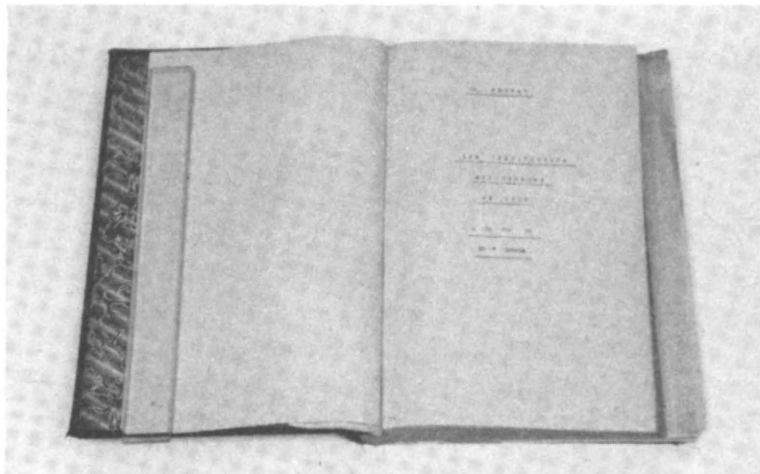
を選んで展示することとした。その全容は、近く目録作業の完成をまって明らかになるであろうが、この機会に、本「文庫」の受入、整理、管理に関して、一方ならぬ労を惜しまれなかった図書館職員各位に心から御礼申し上げたい。（森 洋）

- 1 Perrat, Charles. Archives et Sources de l'histoire de France. 19--.



シャルル・ペラ氏は、1937年から国立古文書学校の教授となった。このノートは、ペラ教授が同校で講じた古文書館学、史料学のノートである。

- 2 Perrat, Charles. Les institutions municipales de Lyon à la fin du XV^e siècle. Tom. 3. 1926.



シャルル・ペラ氏の国立古文書学校卒業論文『15世紀末リヨンの都市制度』の写しである。この論文はついに刊行されなかったが、同氏はこれでローマ大賞を得、ローマに学んだ。

- 3 Mallon, Jean. L'écriture latine de la capitale romaine à la minuscule, réunis par Jean Mallon, Robert Marichal et Charles Perrat. Paris, Arts et métiers graphiques, 1939.

ローマ時代の^{カピタル}大文字から、今日我々が使用している活字体の小文字、すなわちカロリング^{ミニスクーラ}小文字への変化を、一本の発展過程でとらえなおすという画期的な研究の成果が、本書を通じて公表された。マロン、マリシャルと共にペラ教授も共著者として加わっている。

- 4 Chartae Latinae antiquiores; facsimile-edition of the Latin charters prior to the ninth century. Ed. by Albert Bruckner and Robert Marichal. Pt. 1-4. Olten, Urs Graf, 1954-67.

ペラ文庫には古文書の写真複製（ファクシミリ）が多い。本書はブルックナー・マリシャル共編の『ラテン語古文書』で、9世紀以前のスイスおよびイギリスのラテン語古文書が集められている。

5 Allmer, Auguste. *Inscriptions antiques, par A. Allmer & P. Dissard. Tom. 1-5. Lyon, Impr. Léon Delaroche, 1888-1893.*

6 Fabia, Philippe. *La table claudienne de Lyon. Lyon, M. Audin, 1929.*

リヨン生まれのペラ教授の蔵書には、リヨン史関係の図書が極めて多い。5番は、オーギュスト・アルメール著『リヨン博物館蔵碑文集成』全5巻は、ガロ・ロマン期のリヨン（ルグドゥヌム）を研究する際に不可欠な碑文史料集成で、すべてに仏訳が付されている。

6番は、アルメール番号58番クラウディウス帝の碑文（ターブル・クローディエンヌ）の写真複製で、ファビアの同名のモノグラフィーに収められている。

7 Le Nail, Rogatien. *Lyon; architecture et décoration aux dix-septième et dix-huitième siècles. Paris, A. Calavas. 1909.*

リヨンは紀元前後から栄えた都市であるが、現在の景観は17・18世紀に形成された。当該時期の建築物とその装飾のなかから、秀れたものを選び、その写真を公刊したものである。

ペラ文庫に収められたリヨン関係の書物のなかからここに展示した4点は、その学術的水準の高さにおいても、その装丁の見事さにおいても注目に値するものである。

8 Chagny, André. *La basilique Saint-Martin d'Ainay et ses annexes; étude historique et archéologique. Avec le précieux concours des manuscrits et documents laissés, par Birot. Préf. de Marcel Aubert. Lyon, P. Masson, 1935.*

アンドレ・シャニイ、『エネのサン・マルタン教会堂：その歴史的、考古学的研究』、リヨン、1935。

9 Tricou, Jean. *Armorial de généralité de Lyon, publié avec une introduction et une table par Jean Tricou. Tom. 1-2. Lyon, Société des bibliophiles lyonnais. 1958-1960.*

ジャン・トリクウ、『リヨンの王裁判法廷の紋章』、^{ジェネラリティ}2巻合本、リヨン、1960年。（リヨン愛書家協会刊）

- 10 Coville, Alfred. *Recherches sur l'histoire de Lyon du V^me siècle au IX^me siècle (450-800)*. Paris, A. Picard, 1928.

アルフレッド・コヴィル、『5世紀から8世紀(450-800)にいたるリヨン史の研究』、パリ、1928年。

- 11 Beyssac, Jean. *Les prévôts de Fourvière*. Lyon, P. Grange, 1908.

ジャン・ベイサック、『フルヴィエールの代官』、リヨン、1908年。

- 12 Beaunier. *Abbayes et prieurés de l'ancienne France; recueil historique des archevêchés, évêchés, abbayes et prieurés de France, par dom Beaunier. Nouvelle éd., rev. et complétée, par les bénédictins de Ligugé-Chevetogne. Tom. 1-9, 10(ptie 1), 12(ptie 3)*. Paris, Poussiègue; Jouve; A. Picard, 1905-1941.

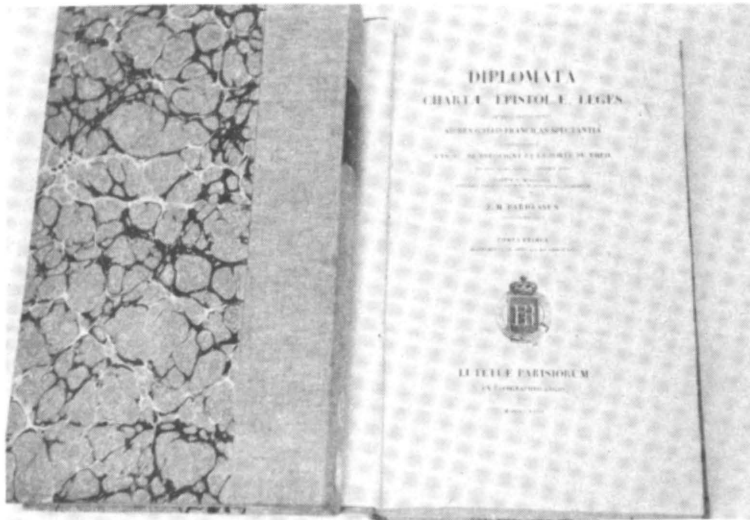
本書は、フランスに現存し、あるいは過去に存在した全ての修道院について、研究に必要な情報(史料、文献等)を網羅すると共に、略史をも付した、修道院研究に必須のツールである。ペラ文庫には貴重なツールが多いが、なかでも本書はぬきんでている。

- 13 *Bulletin de la Société départementale d'archéologie et de statistique de la Drôme. Valence. Tom. 1(1866)-44(1910). Index: 1-40(1866-1906)*.



ペラ文庫には6種の雑誌の完全なバックナンバーが含まれており、そのすべてが我が国では未見の地方誌である。本誌は、1866年から1910年まで刊行されたドローム県歴史学・考古学協会機関誌で、全45巻（索引1巻を含む）から成る。

- 14 *Diplomata, chartae, epistolae, leges, aliaque instrumenta ad res gallo-francicas spectantia, prius collecta a VV. CC. de Bréquigny et La Porte du Theil. Nunc nova ratione ordinata, plurimumque aucta, jubente ac moderante Academia inscriptionum et humaniorum litterarum, edidit J. M. Pardessus. Tom. 1-2. Lutetiae Parisiorum, ex Typographeo regio, 1843-9.*
627. 1. *Instrumenta ab anno 417 ad annum 627.*
2. *Instrumenta ab anno 628 ad annum 751.*



フランスにおける文書刊行事業は、ド・ブレキニイによって1791年にはじめられ、彼の二巻の文書集成は、《ディプロマータ》と略称され、今日でも他の刊本に収録されていない文書を含んでいる。本書は、ブレキニイ版を、パルデッシュが校訂したものである。第一巻、417年—627年の文書。パリ、1843年。第二巻、628年—751年の文書。パリ、1849年。

- 15 *Araspe; histoire véritable écrite par une dame la cour. Texte établi sur l'unique édition de 1672, par Ch. Perrat. Avignon. E. Aubanel. 1959.*

ペラ教授はフランス近世文学にも造詣が深く、ラプレー全集の校訂者の一人でもあった。本書はこの領域での教授の業績の一つで、『アラスプ』（1672年刊）を新たに校訂出版したものである。

- 16 Bellièvre, Claude. *Souvenirs de voyages en Italie et en Orient, notes historiques, pièces de vers. Publiés par Charles Perrat. Précédés d'une notice sur C. Bellièvre, sa famille et son oeuvre par Jean Tricou.* Lyon, Société des bibliophiles lyonnais, 1956.

クロード・ベリエール（1487—1557）はリヨンに生まれリヨンで没した法律家、政治家で、グルノーブル高等法院の初代院長をつとめた。本書は、パリ国立図書館に保存されていた彼の原稿を、ペラ教授が公にしたものである。

- 17 Cuaz, Ernest. *Le château de Pierre-Scize et ses prisonniers.* Lyon, A. Rey, 1907.

本書は、リヨン郊北、ソーヌ川ぞいにあるピエール・シーズ城のモノグラフィーである。本書の本来の表紙にはヴェラン（仔牛の皮）が用いられている。

- 18 *Le Livre du vaillant des habitants de Lyon en 1388; estimation des biens meubles et immeubles pour servir à l' assiette de la taille, publié par Édouard Philipon, avec une introd. de Charles Perrat.* Lyon, Impr. de M. Audin, 1927.

中世のリヨン史関係史料は豊富であるとは言えない。『1388年のリヨン市民の財産査定台帳』である本書は貴重な史料であり、ペラ教授の緒言が付されている。

- 19 Guigue, Georges. *La magnificence de la superbe et triomphante entrée de la noble & antique cité de Lyon faicte au trèschrestien roy de France, Henry deuxiesme de ce nom, et à la royne Catherine son espouse le 23 de septembre 1548. Relations et documents contemporains, publiés par Georges Guigue.* Lyon, Trésorier -archiviste de la société, 1927.

ジョルジュ・ギーグ編（1927年）『1548年9月23日のフランス王アンリ二世と王妃カトリヌ・ド・メディシスの華麗なるリヨン入城』。同時代史料。

- 20 Scève, Maurice. *Le petit oeuvre d'amour et gaige d'amytie*. Préface de E. Herriot. Lyon, Édition de l'Antilope. 1927.

16世紀にリヨンで活躍した詩人モーリス・セーヴの詩集で、1537年の初版の復刻版。フランス上院議長であったリヨン市長エドゥアール・エリオの序文が付されている。

- 21 *Cent nouvelles nouvelles* Les cent nouvelles nouvelles, publiées par Pierre Champion. Tom. 1-2. Paris, E. Droz, 1928.

フランス中世文学の代表的作品である『新百話』の、ピエール・シャンピオンによる版である。挿絵、装丁の豪華さに注目されたい。

- 22 *Ecole des chartes, Paris. Livre du centenaire, 1821-1921*. Tom. 1-2. Paris, A. Picard, 1921.

1821年、ギゾーによって創立された国立古文書学校は卓越した歴史学者、古文書館員を輩出しつづけている。本書は同校の創立100年の記念出版物で、1世紀の間の同校の歩みと業績を記し、教鞭をとった全教授、全卒業生の名を列挙している。

昭和 54 年度病院地区における「入構駐車許可証」
の有効期間の再延長について

(庶務課)

病院地区における「入構駐車許可証」の有効期間の延長について、大学広報 No. 371 (55年3月29日発行)でお知らせしましたが、都合により**6月30日(月)まで**再延長します。

今年度以降実施する新しい規制方法等については、近日中に手続きを終え、あらためてお知らせしますのでご協力をお願いします。